

自治振興会は、市の提案 23 地区全てで設立されています。

—そよ風がやさしさつなぐ共生(ともいき)の里—

甲南中部自治振興会

甲南中部学区は、以前は、農林業を中心に栄えてきましたが、開通した新名神高速道路や大型商業施設の出店等が相次ぎ、飛躍的に交通量が増え、甲南町地域の中心市街地へと移り変わってきました。

そうした中、昨年 10 月に設立された甲南中部自治振興会では、人付き合いの希薄化や高齢者の増加、農林業の担い手不足などの地域課題解決のため、平成 23 年度から 3 年間で期間とした「甲南中部自治振興会地域づくり計画」が策定されました。

将来を見据えた同地域の地域づくり計画、その具現化は、地域がさらに元気になるための大きな一歩になることに期待が集まります。

—すでに事業も実施されているということですが

当会は、年度半ばに設立されたことから、今年度は、まちづくり基本方針に掲げている「誰もが安全で安心して暮らすことができるまちづくり」に事業を集中させ、「安全・安心まちづくり事業」に取り組んでいます。

具体的には、地域振興部会を中心に、夜間における地域の危険箇所をチェックし、地域内に設置している防犯灯について再検討し、管内の 64 カ所の防犯灯について、環境にやさしい LED への交換、12 カ所について新規設置に取り組んでいます。



—甲南中部自治振興会のPRをどうぞ

当会では、各区・自治会の活動が尊重され、身近な地域におけるコミュニティ推進が図られるとともに、困ったときには、甲南中部学区住民・組織団体みんなが支え合いながら地域振興が推進されていく、そんな地域をめざしています。

当会のキャッチフレーズ「そよ風がやさしさつなぐ共生の里」にもありますように、以前から地域で培われてきた「そよ風のように自治を育む」の精神を大切に、それぞれの区・自治会を思いやりながら、また、この地域を支え続けてきた高齢者や未来を担う子どもたちをやさしく見守りながら、つながりあって、「困った時はお互い様」の気持ちで、新しい自治振興組織を運営していきたいと思っています。

甲南中部自治振興会 服部 静夫会長に聞きました



—自治振興会設立に至った経過やご苦労されたことをお聞かせください

この地域の 5 つの区や自治会は、しっかりと自立した自治組織であることから、自治振興会をすぐに設立しなければならないという状況ではありませんでした。

しかし、改めて現在の状況と将来を見据えたときに、この機会に設立しておくことが望ましいのではないかと平成 22 年 11 月の学区区長会で検討していただき、設立準備委員会を組織する事前の準備会を翌 12 月に発足させ、各区への説明会を積極的に行いました。

準備会で地域の課題を掘り下げ、昨年 5 月に自治振興会設立準備委員会を立ち上げ、地域のビジョンを描き、10 月 15 日に設立総会を開催して、「甲南中部自治振興会」をスタートさせました。

問い合わせ 地域コミュニティ推進室 ☎65-0687 ☎63-4554



里山整備を小学生が見学

山内地域市民センター

2月22日、山内自治振興会が行った「美しい里山再生事業」の現場見学会が地元

2月22日、山内自治振興会が行った「美しい里山再生事業」の現場見学会が地元で

行われました。見学に訪れたのは、山内小学校4年生児童7名で、重機の通る作業道を歩き、甲賀森林組合の方や地元の方から、間伐などして山を整備する大切さや、森林の働きなどの説明を真剣に聞いていました。そして、普段あまり見ることのない最新の林業機械の実演を見たり、乗せてもらったりして楽しく地域の環境について学びました。

最後に児童らは帽子や杉の輪切りのお土産をもらい、満足そうに見学会を終えました。



希望ヶ丘保育園でお茶会を開催

希望ヶ丘地域市民センター

2月8日、希望ヶ丘保育園で、日本の伝統文化を体験しようとお茶会を開催されました。

この日は、土山町の井上喜代子さんから茶道の作法などを教えていただきながら、年長組の園児が、年中組の園児にお茶を振る舞いました。

いつも園庭を元気に走り回っている園児も少し緊張した様子で、「どうぞ」と言葉を添えながら、お菓子と自分でたてたお茶を行儀よく運びました。

大きなお茶碗を両手で持ちながら、初めて飲むお茶に、思わず「少し苦い」と声を出す園児もいましたが、行儀よくお点前をいただいていました。



「いのちと思いやり大切に…」人権感覚をみがこう

雲井地域市民センター

2月25日に黄瀬交流館から、雲井自治振興会主催の「人権学習のつどい」が開催されました。

この日は約40名の地域の方に参加をいただき、人権協信楽支部男女共同参画部会の皆さんによる人権朗読劇や人権推進課の講演などが行われました。

人権朗読劇では、喫茶店に集まる人々の会話や暮らしの中から、日常に潜む差別意識について、また講演では、東日本大震災に関する話や、「稲むらの火」という紙芝居を題材に、人権のことも基本である「いのちの大切さ」を参加者がそれぞれに感じ取れるすばらしい内容でした。

みんなで楽しくボウリング

柏木地域市民センター



2月25日、かしわぎ自治振興会（体育部会）が主催するボウリング大会が開催され、約50名が参加しました。

このイベントは、地域の皆さんがボウリングを通じて、楽しく交流し、顔馴

染みになれる機会になればと計画されたものです。特に今回は、若い世代からの参加も期待し、おむね高校生以上の皆さんを対象として開催されました。

また、これまで自治振興会の事業を担当する役員が、その準備や運営に追われてしまい、自らも楽しむことができたのかという視点から、役員も一緒に楽しむことをまず第一に考えたイベントとして企画されたものでもあります。当日は好評が続出し、満面の笑顔や大きな歓声で溢れた大会となり、今後も、「みんなで楽しめるイベント」の開催を心待ちにしています。

連続シリーズ 統計からみる

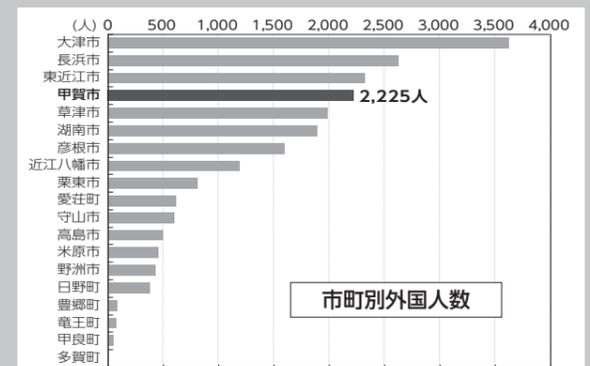
その9

甲賀市 なんでもランキング

市町別外国人数 県内4位

平成22年国勢調査(人口等基本集計)によると、甲賀市に居住している外国人数は2,225人(男1,205人、女1,020人)で、前回(平成17年)に比べて49人増加し、県内では第4位となりました。国籍別にみるとブラジルが884人で最も多く、ついで中国392人、韓国、朝鮮252人、ペルー 211人となっています。

市町の総人口に占める外国人人口の割合をみると、甲賀市は2.40%で、湖南市、愛荘町について県内第3位となっています。滋賀県が1.53%(全国は1.3%)であることから、甲賀市は外国人がたくさん居住する地域のひとつなのです。



問い合わせ 総務課 ☎65-0663 ☎63-4561